キズナ強化プロジェクト参加者の当地訪問・当館主催レセプションの開催

１月８日から１２日にかけて、キズナ強化プロジェクト短期派遣事業への参加者（高校生１４１名、引率者９名）が当地を来訪しました。

来訪期間中、ボーイング社の招待による同社エバレット工場博物館（フューチャー・オブ・フライト）の視察、シアトル大学における東日本大震災及びその後の復興の状況に関する体験談の発表、ピース・ウィンズ・アメリカのチーフ・エグゼクティブ・オフィサーのチャールズ・アーネソン氏による講演など多岐にわたるプログラムが実施され、当地コミュニティの多大なる協力を得て大変充実した滞在となりました。

また、１１日夕刻には、ノース・シアトル・コミュニティ・カレッジのご厚意により、同大学キャンパス内において当館主催のレセプションを開催致しました。レセプションには、シャロン・サントス州下院議員をはじめシアトル市・日本文化団体・商工会、県人会等の代表者や当地の高校からキズナ強化プロジェクトに参加した高校生の出席も得られました。参加者は、劇や合唱などの様々な様式を取り入れつつ、東日本大震災とその後の復興について出席者に発表し、当地コミュニティ関係者と交流を深める良い機会となりました。

この場を借りて、本行事の開催に多大なるご協力をいただいた当地コミュニティ関係各位にお礼を申し上げます。